

フレッシュマン・オカザキのインド通信

～ 迷信 ～

お世話になっております！インド担当 オカザキです！

インド南部を熱波が襲っています。通常でもこの時期のインドは最高に熱いのですが、一部の地域では気温が50℃に迫る勢いで、死者が出てしまうほどの酷暑が続いているようです。例年、丁場の稼働時間が早朝からお昼までになったり、職人が来ず、停止したりしています。また、学校は夏休みになるので、旅行シーズンの到来でもあります。取引先工場のオーナーもマカオに家族・友人ら10人以上を引き連れてサマーバケーションを楽しんでいたようです。全て彼が手配したようで骨が折れたと嘆いていましたが・・・

それでは今回も力を入れた小ネタから！

日本だと「夜に爪を切ると親の死に目に会えない」とか、「クロネコを見たら不吉」、なんてのをご存知ではないでしょうか。盛り塩を玄関に置いている方も少なくはないと思いますが、風水も言ってしまうと似たような習慣ですね。

今回は色々ある「インドの迷信」がテーマです。

どの国にも大なり小なり数多くの迷信があると思いますが、インドの迷信は少し、というかかなり事情が違っています。インドでは迷信と言うより、それ以上の影響力を持っているようです。

有名ところからご紹介しますと・・・

「左手を使ってはいけない」

ご存知の方も多いかと思いますが。迷信というよりマナーに近いかもしれません。食事をする時はもちろん右手で直接掴んで食べます。そのほかに握手する時、人にもものを渡すもしくは受け取る時（←私は一度これで怒られています・・・）。左手を使うと相手を嫌な気持ちにさせてしまう事もあるので、皆さんもご渡航の際はご注意ください・・・

何故左手を使ってはいけないのか。左手はトイレの手とされ排泄後の処理を、汲んでおいた水を使って左手で直接洗い流します。従って、トイレで使用する左手は、不浄な手、逆に食事で使用する右手は、聖なる手としてヒンドゥーの神々を象徴するのだそうです。衛生的にもこの風習が根付いているようです。



「レモンと唐辛子を玄関に下げる」

こちらは風水的な魔除け・厄除けです。盛り塩と非常に近いですね。街を歩いていても家やオフィスの入り口にぶら下がっているのをよく見るように思います。



「赤ん坊を地面に落とす」

耳を疑わざるを得ませんね・・・ 日本のテレビでもやっていたので、ご覧になったことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？お寺の高い所から、赤ん坊を地面に向かって落とすのです。するとその子は度胸と知性が身に付くそうなの・・・。落とすとは言ってももちろん下には受け止める大人達がいるのですが、もし受け止める事が出来なかったら（汗・・・）。健康を祈ってとのことですが、こういった迷信はインドでは厳しく規律されておらず、怪我人や死者が出て始めて、役所が出てきます。一応表面的には、現在はこの儀式は禁止されているようです。人に被害が出ない迷信なら、好き勝手やってもいいと思うのですが。。度を越えた迷信も多いのがインドの凄みなのかもかもしれません。



←2階よりは高いところから落としているように見えますね。。



何とか助かった少年。泣いちゃってます。→

インドは心底面白い国ですね。これを面白いと言っていいのかわかりませんが。。この他にも、夜に掃除をしてはいけない、土曜日に金物を買ってはいけない等々・・・文化も違えば迷信もこれだけ違って来るんですね。そしてたまに似ているものがあったりなかったり・・・迷信に限らず、これからもどんどん発信していきたいと思います！

国産材検品研修！

に行って参りました！弊社では国産材の委託加工原石を日本で検品後に中国へ出荷しています。今回は万成石を検品しに、出荷前の原石を保管している岡山県の水島港へ行ってまいりました！皆さんにその様子と奮闘している私の雄姿（？）をお見せしちゃいます！

～万成石原石検品 手順その1～

・原石を洗う

万成石の原石は搬入時に土や泥がついて汚れています。泥を落とさなければ検品も出荷もできませんので、まずはこの泥を放水機で全て洗い流します。1つ1つの原石の汚れを全て綺麗に落とさなければいけないので（落とさないで中国の検疫にひっかかります！）、意外とハード。。。また、矢穴に詰まった泥を水圧の強い放水機で落とそうとすると、ブシャー！！と泥水が自分にかかります。。。。でも汚れがスポンと矢穴から出るとちょっと快感です。。。（笑）



↑丁場の原石。

～手順その2～

・検品

万成石の主な問題はレアアースのタングステン（高価です！）も含まれていることもある、髪の毛キズ（決してそこから割れるような事はありませんが、長いとやはり目立つので。。。。）。表面を見て髪の毛のような細かいキズが2～3面に繋がっていると中にも入っているという事なので、繋がっているキズを見つけ出します。このキズは入る面が決まっています（一概には言えないので全面確認します）。細かいキズの方向と目の流れからキズの入りやすい面を探り、よ～く、検品します。これも一概には言えませんが、色の薄い石はキズが少なく、濃い石は多いと言われています。その他の問題点は割れキズ、オビ、サビ等。全てチョークでマークしておき、次の手順、検尺で問題を省きます！



↑キズとオビの写真です。写真ではわかりにくいですが、磨いた後にわかるようになるので、しっかり省きます。

～手順その3～

・検尺

まずは外寸法を測ります。書類上の寸法。またコンテナに積むので、原石1つ1つの重さを量るため、体積を出さなくてはなりません。そして、キズなどの問題点を省いて、どのくらいのサイズが取れるかをみる為に、検尺寸法を測ります。問題点を省いて、凹凸のある原石から真っ直ぐな直方体（部材）が作れるように寸法を取る為、直角定規で角度を調整しながら、原石にチョークで描いて寸法を測ります。これが私にはまだまだ難しく・・・うまく測り、伝えなくては中国で寸法を誤魔化される・・・、指定した部材が取れない。という可能性もありますので、無い頭で必死に考えてます・・・。

～手順その4～

・マーキング

中国の委託先工場にわかりやすいように、チョークでは雨で落ちてしまいますので、スプレーで問題のある位置と、原石番号を描いておきます。

これにて終了！！終わったころには泥やチョーク、スプレーで自分がマーキングされたような状態になっています・・・(笑)



すみません、私の報告書（新人奮闘記）のようなメルマガになってしまいました・・・。最後まで読んで頂いた皆様にとっておきの写真を掲載させて頂きました！

沈む夕日と私 “オカザキ” の雄姿です！

あれ・・・需要無いですかね・・・失礼致しました。
m(_)_m

ではまた来月お会いしましょう！

2015年6月1日 オカザキ